


## 日本ブラームス協会 第100回記念例会 プログラムより

当時 JBS 名誉会員三宅正彦氏の旧制東京高等学校時代のご学友である日本指揮者協会会長朝比奈隆氏よりお祝辞を載く。

日本ブラームス協会 第100回 記念例会  
Japanischer Brahms Gesellschaft Nr.100 Konzert



NOVEMBER 1863.

1991・9・22 (日) 4PM  
Sonntag 22.9.1991 16.00 Uhr

東京 ルーテル市ヶ谷センター  
Lutherische-Ichigaya-Centre Tokyo

祝 辞 Congratulations!

For the Japan Brahms Society I wish another "centennial" in the near future. As born myself in Hamburg it is very impressive to observe during the last two decades how much the JBS contributed to the expanding fame of my compatriot Brahms. And as a musician I consider performing Brahms the most important activity to foster the knowledge of his music. Finally as president of the Hamburg Brahms Gesellschaft I want express my great gratitude for your activities under the device of Brahms as for the excellent cooperation with our society.

2. Sept. 1991  
Detlef Kraus

日本ブラームス協会がまもなく100回目の例会を迎えることを喜ばしく思います。私自身ハンブルクで生まれたこともあり、この20年に亘っていかに貴協会が私と同郷のブラームスの名声を広めて来たかを述べるのは誠に感動的であります。そして音楽家の一人として私はブラームスの作品を演奏することが、彼の音楽の相續を助長するために最も重要だと考えています。

最後に、ハンブルク・ブラームス協会の会長として私は、ブラームスの名の下での貴協会の活躍と、わが協会にたいする多大のご協力に深い感謝の意を表すものです。

1991年9月2日  
ハンブルク・国際ブラームス協会会長 デトレフ・クラウス

ブラームス — 青春の憧憬

先頃、私は新日本フィルと組んでブラームスの交響曲と協奏曲全曲のシリーズを演奏した。数か月間、ブラームスの音楽の中に浸って、昔ヴァイオリン奏者としてピアノ・トリオを組んで、ベートーベンやブラームスの多くを演奏していた頃の事を想った。

ベートーベンの音楽からは、今も同じであるが恐ろしさにも似た畏敬の念を覚えたが、ブラームスの作品、例えばロ長調 op.8 の三重奏曲を弾いている時は、若々しい春のように甘美な想いに満たされた。演奏が始まりピアノとチェロが主旋律を奏でヴァイオリンの出を待つ時間は、終る事のない至極の時のようであった。

バッハやベートーベンの手法を極め尽くした壮大なソナタ形式やパッサカリア風の変奏は、もとより偉大な音楽であるが、演奏する自分にとって二短調のピアノ協奏曲の祈りのような第2楽章、第三交響曲3楽章ボコ・アレグレットでの哀しみの歌を奏でるチェロとヴァイオリン、ヴィオラの裝飾的な対位が作り出す不協和音の痛切な響きは、演奏が終わった後も幾日も私の耳を去らない。

その節シューマン亡き後、未亡人クララとその家族に諭らぬ誠実と愛を貫いた偉大なロマンティック、ブラームスの姿がそこにある。

以上、拙筆ながら日本ブラームス協会の「第100回例会」開催にあたり、私のお祝いの言葉とする。

1991年9月  
日本指揮者協会 会長 朝比奈 隆

To Members of the J. B. S.

On behalf of the Board of Directors and members of the American Brahms Society, I would like to express to the Japan Brahms Society our heartiest congratulations on the occasion of its 100th concert on 22 September 1991.

Such a milestone concert is truly worthy of celebration, for it serves to remind us of the dedication of your society, over nearly twenty years of sponsoring concerts, to bringing the music of Brahms to your fellow citizens.

We have appreciated the close contact that has developed between our two societies over the years, through our correspondence, the exchange of our publications, and the several members of the JBS who have also joined the ABS.

We wish you a most enjoyable "100th" and many, many more!

15 August 1991  
George S. Bozarth  
Executive Director, ABS

日本ブラームス協会の皆さんへ

1991年9月22日、日本ブラームス協会が第100回例会を催すにあたり、米国ブラームス協会の理事一同と会員諸君を代表して、心からの祝辞を申し上げます。

この記念碑的な例会は、貴協会が20年近くの間、例会を通じてブラームスの音楽を市民たちに提供するべく貢献してきたことを改めて私たちに示すものであり、まさに祝う価値があるものであります。文通や刊行物の交換により、さらに貴協会の数名の会員が米国のわが協会に入会するなど、長年に亘って二つの協会の間に育まれて来た親密な関係を常に嬉しく思っています。

日本ブラームス協会が本当に楽しい「第100回例会」を祝い、そしてさらに数多くの例会を積み重ねて行かれることを期待しています。

1991年8月15日  
米国ブラームス協会 専務理事 G. S. ボザース

\*このプログラムの表紙:

1893年11月のブラームス(マリア・フェリンガー夫人撮影)。  
昨年オーストリアのミュルツウシューラクに復活開館した「オーストリア・ブラームス協会」制作の絵葉書からの転載。

プログラム Programm

- 記念講演 ブラームスと私たち—日本におけるブラームスの音楽の受容について  
Der Vortrag zum Andenken an die Hundertste regelnässige Versammlung von  
Japanischer Johannes Brahms Gesellschaft.

顧問 本田 脩 Prof. Osamu Honda

- 歌曲 ティークの「マゲローネ」によるロマンスより Op. 33  
Lieder Romanzen aus Tiecks Magelone Op. 33

それを悔いた者はまだいない。 Keinen hat es noch gereut  
敵に弓矢を Traun! Bogen und Pfeil sind gut für den Feind  
悩みか喜びか、 Sind es schmerzen, sind es Freuden  
愛は遠い国から、 Liebe kam aus fernen Landen  
さあめくがよい泡立つ波よ、 So tonet denn, schäumende Wellen  
まことの愛は永遠に Treue Liebe dauert lange

Bar. 田中 純 Jun Tanaka  
P.f. 小林 光裕 Mitsuhiro Kobayashi

- 歌曲 ジアシーの歌 全曲  
Lieder Zigeunerlieder

Sop. 福原久美 Kumi Fukuhara  
P.f. 小林 光裕 Mitsuhiro Kobayashi

- 女声二重唱曲  
Duette für Sopran und Alt

愛の道	Weg der Liebe	Op. 20-1
海	Die Meere	Op. 20-3
出来事	Phänomen	Op. 61-3
響きII	Klangell	Op. 66-2
ヴァルブルギスの夜	Walpurgisnacht	Op. 75-4
愛の使者	Die Boten der Liebe	Op. 61-4

Sop. 村谷 祥子 Shoko Muralani  
Alt. 福山 恵 Megumi Fukuyama  
P.f. 吉田 由紀子 Yukiko Yoshida

- ピアノ・ソナタ 第1番 八長調 Op. 1  
Klaviersonate Nr. 1 C-dur Op. 1

P.f. 杉谷昭子 Shoko Sugitani

- チェロ・ソナタ 第2番 八長調 Op. 99  
Cellosonate Nr. 2 F-dur Op. 99

V.c. 藤原真理 Mari Fujiwara  
P.f. 薬はるひ Haruhi Hata